

歯学系 学部						
薬学系 学部						

選択肢：

1. 値上げ 2. 値下げ

Q5. 貴学では、学納金の値上げを検討する要因となりうるものは、どのようなものがありますか。影響が大きいものから順に3つまで選択してください。

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

選択肢：

a.物価の上昇 b.家計所得の変動 c.教育研究費の増加 d.管理運営費の増加
e.財務状況の悪化 f.人件費の増加 g.施設・設備の拡充 h.補助金額の変動
i.学生募集の状況 j.修学支援新制度や奨学金の充実
k.競合関係にある他大学の学費改定 1.その他（ ）

Q6. 貴学では、独自の取り組みとしてどのような学生への経済的支援（以下、「独自の学生支援制度」）を実施していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 経済状態を基準とする給付型奨学金 2. 学業状態を基準とする奨学金
3. スポーツ等部活動を基準とする奨学金 4. 独自の貸与型奨学金
5. 入学金の減免 6. 授業料の減免 7. その他学納金の減免
8. 教育ローンの利子補填 9. 学生納付金の分納・延納 10. 留学生の学納金の減免
11. あてはまるものはない

< Q6で独自の学生支援制度を実施していると答えた方に伺います（Q7.～Q10.） >

Q7. 2024年度の「独自の学生支援制度」の該当者数をそれぞれ記入してください。経済状態と学業状態のように2つの基準による支援制度の該当者については、それぞれに0.5人を計上してください。（半角数字のみで記入してください。）

1. 経済状態を基準とする給付型奨学金	人	2. 学業状態を基準とする奨学金	人
3. スポーツ等部活動を基準とする奨学金	人	4. 独自の貸与型奨学金	人
5. 入学金の減免	人	6. 授業料の減免	人
7. その他学納金の減免	人	8. 教育ローンの利子補填	人
9. 学生納付金の分納・延納	人	10. 留学生の学納金の減免	人

Q8. 貴学において、2024 年度「独自の学生支援制度」にかかった費用の総額と対象人数（延べ数）を記入してください。（半角数字のみで記入してください。）

総額	円	対象人数	人
----	---	------	---

Q9. 貴学では、「独自の学生支援制度」について、今後どのように取り組みたいと考えていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. 拡充させたい	2. やや拡充させたい	3. 変更しない
4. やや縮小させたい	5. 縮小させたい	

Q10. 貴学では、受験生や保護者、高校等に SNS 等で「独自の学生支援制度」について説明を行っていますか。あてはまるものを1つずつ選択してください。

	積極的に行っている	やや積極的に行っている	あまり行っていない	行っていない
1. X（旧 Twitter）	1	2	3	4
2. Instagram（動画投稿も含む）	1	2	3	4
3. LINE（公式 LINE 等）	1	2	3	4
4. YouTube	1	2	3	4
5. TikTok	1	2	3	4
6. その他（ ）	1	2	3	4

Q11. 貴学では、奨学金の業務に関してどのような状況ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

	修学支援新制度	日本学生支援機構の奨学金	自治体や民間の奨学金	大学独自の奨学金
1. 申請対象者の人数が多い				
2. 申請書の項目数が多い				
3. 短い期間で書類を準備しなければならない				
4. 対象者の要件を把握するのが大変である				
5. 事務担当者の人数が少ない				
6. 奨学金業務に精通したスタッフが少ない				
7. 他の学生支援業務が停滞する				

8. その他 ()				
---------------	--	--	--	--

Q12. 貴学では、修学支援新制度に関連する事務負担をどのように感じていますか。あてはまるものを1つずつ選択してください。また、事務負担についてご意見がございましたら、自由にご記入ください。(1,000字以内)

	とても 負担である	やや 負担である	あまり 負担でない	まったく 負担でない
1. 学生の成績管理	1	2	3	4
2. 申請書類の作成	1	2	3	4
3. 会計上の処理	1	2	3	4
4. 個人情報の取扱い	1	2	3	4

ご意見：

--

Q13. 貴学では、修学支援新制度以外の奨学金の事務負担についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. 負担が大きい	2. 負担がやや大きい	3. 負担がやや小さい	4. 負担が小さい
-----------	-------------	-------------	-----------

Q14. 貴学において、学生支援（学生課等）を担当するスタッフ総数は何名ですか。そのうち、奨学金制度を担当しているのは何名ですか。それぞれ記入してください。（派遣や非常勤等のスタッフも含めてカウントしてください。学内で2つ以上の部門を担当している場合は、小数でカウントしてください。例：2つの部門を担当している場合は0.5）

総数	人	うち奨学金制度の担当	人
----	---	------------	---

Q. 貴学では、修学支援新制度の授業料減免対象者及び給付奨学生の人数は何人でしたか。各要件に該当する年度別人数をそれぞれ記入してください。（申請様式第2号の別紙に記載の数値を参考に記入してください。10人以下の場合も実数を記入してください。）
(Q15.~Q17.)

Q15. 2023年度更新確認申請書の対象者（2022年度分の人数を半角数字のみで記入してください。）

A：前半期の支援対象者（家計急変による者を除く）	人
A-a：（内訳）第Ⅰ区分	人
A-b：（内訳）第Ⅱ区分	人

A-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
B : 後半期の支援対象者 (家計急変による者を除く)	人
B-a : (内訳) 第Ⅰ区分	人
B-b : (内訳) 第Ⅱ区分	人
B-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
C : 年間の支援対象者 (家計急変による者を除く)	人
D : 家計急変による支援対象者 (年間)	人
E : 年間合計 (C+D)	人

Q16. 2024 年度更新確認申請書の対象者 (2023 年度分の人数を半角数字のみで記入してください。)

A : 前半期の支援対象者 (家計急変による者を除く)	人
A-a : (内訳) 第Ⅰ区分	人
A-b : (内訳) 第Ⅱ区分	人
A-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
B : 後半期の支援対象者 (家計急変による者を除く)	人
B-a : (内訳) 第Ⅰ区分	人
B-b : (内訳) 第Ⅱ区分	人
B-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
C : 年間の支援対象者 (家計急変による者を除く)	人
D : 家計急変による支援対象者 (年間)	人
E : 年間合計 (C+D)	人

Q17. 2025 年度更新確認申請書の対象者 (2024 年度分の人数) のうち、下の項目に該当する人数を半角数字のみで記入してください。

A : 前半期の支援対象者数 (家計急変による者を除く)	人
A-a : (内訳) 第Ⅰ区分	人

A-b : (内訳) 第Ⅱ区分	人
A-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
A-d : (内訳) 第Ⅳ区分 (理工農)	人
A-e : (内訳) 第Ⅳ区分 (多子世帯)	人
B : 後半期の支援対象者数 (家計急変による者を除く)	人
B-a : (内訳) 第Ⅰ区分	人
B-b : (内訳) 第Ⅱ区分	人
B-c : (内訳) 第Ⅲ区分	人
B-d : (内訳) 第Ⅳ区分 (理工農)	人
B-e : (内訳) 第Ⅳ区分 (多子世帯)	人
C : 年間の支援対象者数 (家計急変による者を除く)	人
D : 家計急変による支援対象者 (年間)	人
E : 年間合計 (C+D)	人

Q. 貴学では、日本学生支援機構の貸与型奨学金採用決定者は何人でしたか。各要件に該当する年度別延べ人数をそれぞれ記入してください。(第一種・第二種併用の場合は、それぞれにカウントしてください。)(Q18.~Q20.)

Q18. 2022年度の採用決定者(半角数字のみで記入してください。)

第一種	人	第二種	人
-----	---	-----	---

Q19. 2023年度の採用決定者(半角数字のみで記入してください。)

第一種	人	第二種	人
-----	---	-----	---

Q20. 2024年度の採用決定者(半角数字のみで記入してください。)

第一種	人	第二種	人
-----	---	-----	---

Q 貴学では、修学支援新制度の対象者で認定取消や退学・停学等に該当した学生は何人でしたか。各年度の該当者数をそれぞれ記入してください。(申請様式第2号の別紙に記載の数値を参考に記入してください。10人以下の場合も実数を記入してください。)(Q21.

～Q23.)

Q21. 2023 年度更新確認申請書の対象者（2022 年度分の人数を半角数字で記入してください。）

認定取消：修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人
認定取消：修得単位数が標準単位数の 5 割以下	人
認定取消：出席率が 5 割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人
認定取消：「警告」の区分に連続して該当	人
退学・停学：退学	人
退学・停学：3 月以上の停学	人
停止：3 月未満の停学	人
停止：訓告	人
警告：修得単位数が標準単位数の 6 割以下	人
警告：GPA 等が下位 4 分の 1	人
警告：出席率が 8 割以下その他学修意欲が低い状況	人

Q22. 2024 年度更新確認申請書の対象者（2023 年度分の人数を半角数字で記入してください。）

認定取消：修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人
認定取消：修得単位数が標準単位数の 5 割以下	人
認定取消：出席率が 5 割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人
認定取消：「警告」の区分に連続して該当	人
退学・停学：退学	人
退学・停学：3 月以上の停学	人
停止：3 月未満の停学	人
停止：訓告	人
警告：修得単位数が標準単位数の 6 割以下	人

警告：GPA 等が下位 4 分の 1	人
警告：出席率が 8 割以下その他学修意欲が低い状況	人

Q23. 2025 年度更新確認申請書の対象者（2024 年度分の人数を半角数字で記入してください。）

認定取消：修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人
認定取消：修得単位数が「廃止」の基準に該当	人
認定取消：出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人
認定取消：「警告」の区分に連続して該当	人
退学・停学：退学	人
退学・停学：3 月以上の停学	人
停止：3 月未満の停学	人
停止：訓告	人
停止：GPA 等が下位 4 分の 1	人
警告：修得単位数が「警告」の基準に該当	人
警告：GPA 等が下位 4 分の 1	人
警告：出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人

Q24. 貴学では、修学支援新制度において認定取消になった学生への特例措置（斟酌すべきやむを得ない事情がある場合の特例措置）を実施したことがありますか。あてはまるものを 1 つ選択してください。

1. 実施している 2. 実施していない

Q25. 修学支援新制度が廃止となった学生に対する取り扱いについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。（1,000 字以内）

--

Q26. 貴学では、修学支援新制度の導入以降、経済的理由で中退する学生は減少しましたか。あてはまるものを1つ選択してください。

1. 減少した 2. 増加した 3. 変わらなかった

Q27. 学業要件厳格化について、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。(1,000字以内)

--

Q28. 機関要件厳格化について、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。(1,000字以内)

--

Q29. 修学支援新制度では、授業料等減免において、学生が在籍する大学の設置主体（国公立）によって、授業料等の自己負担額が異なります。私学は授業料減免額の上限があることについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。(1,000字以内)

--

Q30. 修学支援新制度や日本学生支援機構の奨学金等について、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。(1,000字以内)

--

Q31. 最後に、ご回答について確認させていただく場合がありますので、回答者さまの情報をご記入ください。

大学名	
部署名	
役職	
メールアドレス	
ご担当者氏名	